

富山ガラス造形研究所 創立30周年記念展 未来へのかたち

Thirty Years of Toyama
Institute of Glass Art
Forms for the Future



2021.10.23 sat → 2022.1.23 sun

展覧会名	富山ガラス造形研究所創立 30 周年記念展：未来へのかたち
展覧会期	2021 年 10 月 23 日（土）－2022 年 1 月 23 日（日）
会場	富山市ガラス美術館 展示室 1-3（2・3F）、ギャラリー1（5F）
開場時間	午前 9 時 30 分から午後 6 時まで （金・土曜日は午後 8 時まで、入場は閉場の 30 分前まで） ※初日のみ開会式（午前 10 時～）終了後開場 ※1/2（日）、3（月）は特別開館のため午後 5 時まで
閉場日	第 1、第 3 水曜日（ただし 11/3（水・祝）は開場、11/10（水）は閉場）、 年末年始（12/29（水）-1/1（土））
観覧料	一般 1,000 円（800 円）大学生 800 円（600 円） ※（ ）内は 20 名以上の団体 ※小中高生未就学児無料 ※5 階ギャラリー1 は入場無料 ※本展観覧券で常設展もご覧いただけます。 前売りチケット取り扱い： アスネットカウンター Tel. 076-445-5511/ TOYAMA キラリ 1F 総合案内
主催	富山市
後援	北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送

開催趣旨

本年、富山ガラス造形研究所は、創立 30 周年を迎えます。

1991 年、富山市の 35 年来にわたる市政「ガラスの街とやま」事業の大きな一歩として、ガラス作家育成機関である同研究所が創設されました。今でもガラスによる創作は「ガラス工芸」という名のもとに集約されることが多いのですが、同研究所は「造形」にこだわり、「ガラス造形研究所」と銘打って、スタートを切りました。ガラスという素材の表現力を最大限に引き出す芸術の創造を目指したのです。

これを実現すべく、出発時から、世界のグラスアート界を先導するチェコやアメリカからも常に指導教授を招聘し、質の高い指導を行ってまいりました。この 30 年間、卒業生は 555 名を数え、国内外で活躍する多くの作家を輩出しています。

この度、富山市ガラス美術館では、同研究所創立 30 周年を記念し、歴代教授陣や卒業生による作品が一堂に会する展覧会を開催いたします。出品作品は最新作や代表作ばかり。過去 30 年の軌跡に留まることなく、未来につながる国際的なガラスと表現の「今」をご覧ください。ただければ幸いです。ご期待ください。

出品作家

あさの えりこ、アビルショウゴ、いけだみつあき、いとう まちこ、いのうえつよし、いの やまきこ、いまい まりえ、

えなみ ふじこ、えのもとつほ、きしもとこうへい、きさなぎせいこ、

こじま ゆかこ、こそが わるな、ごとうようへい、こにしうしお、こばやしちき、こばやしとしかず、こむね たかひと、

さき さきまきひろ、サブロウ、しげや りょうじ、ヤロスラフ・シャーラ、ボイド・スギキ、たけおかけんすけ、

スコット・ダーリントン、ちむら ようへい、ちやんきよんむ、つかだ みどり、つくりみちりょうこ、つもりひでのり、

トガシヨウコ、ところしほ、なかがみまきこ、なかむらとしやす、なりたきとこ、にしかわまこと、にしがきとし、にしなかゆきと、

にしやまゆき、の だ ゆういち、ひろせ えみ、ふくにしたけし、ふじたきとうへい、ほき し えり、ほんごうじん、まつおいつちよう、

まつお りな、まつふじこういち、パヴェル・ムルクス、やすだたいぞう、やまもとあかね、よしむらけいこ、よねもとまさあき、

ヴァーツラフ・レザーチュ、わたなべち えみ、ジャック・ワックス

【映像出品】

あまの ふみ、かんみんへん、ひろがきあやこ、まえたけやすえ、やひろしん、よしむらくまぞう、
天野美美、姜旻杏、広垣彩子、前竹泰江、八尋晋、吉村熊象（計 64 名）

富山ガラス
造形研究所
とは

1991年4月に開校した、公立としては全国初のガラス専門教育機関。
造形科、研究科の2学科（修業年限は各学科2年）を設置。開校当初より海外からも教授
を招聘し、充実した環境のもと、質の高い教育を行っています。これまでに555名*の
卒業生を輩出し、その多くは作家や教育機関の指導者等として国内外で活躍しています。

*2021年3月31日現在



1. 研究所内ホットショップ、撮影:室澤敏治



2. 研究所外観、撮影:室澤敏治

展示作品の
特徴

幅広い年代の作家による、ガラスを用いた多種多様な作品が集結します。
本展覧会には長年にわたり制作活動を続けてきたベテラン作家から、近年研究所を卒業し
た注目の若手作家まで、幅広い年代の作家が参加しています。それぞれの作家の表現は、
素材の扱い方や制作方法、モチーフやテーマ、活動領域などによって大きく異なります。
本展覧会はガラスを素材に生み出された、多種多様な作品を一度に見ることのできる絶好
の機会となります。

展覧会の
構成

本展覧会は館内に2つの会場を設けています。第1会場、第2会場で合わせて64名の作
家をご紹介します。

第1会場となる展示室1-3（2・3F）では卒業生44名、歴代教授陣13名、初代顧問で
ある藤田喬平氏の計58名による作品を5つのテーマのもと展示します。

第2会場のギャラリー1（5F）では、ガラスとは異なるジャンルや海外で作家活動を続け
る卒業生6名の紹介映像のほか、富山ガラス造形研究所に関する資料やデータ、学生達が
制作に使用している道具類を展示します。（第2会場は入場無料でご覧いただけます。）

展示作品
の紹介

第1会場では次の5つのテーマのもと作品を展示しています。

1. つながる時間

過去から現在へ、現在から未来へとつながる時間の流れと、その中を生きる私たちの存在を意識させる作品を紹介します。



3. 作道遼子《民の史》2021年、作家蔵、撮影:岡村喜知郎



4. 小曾川瑠那《息を織る-April 2021》2021年、作家蔵



5. ジャック・ワックス《息》1994年、富山市ガラス美術館所蔵、撮影:岡村喜知郎

2. 越境するうつわ

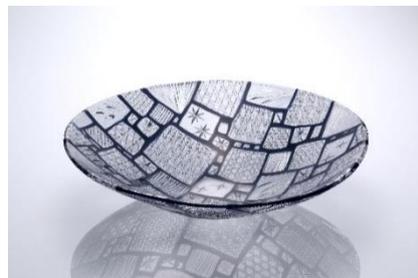
鑑賞のためのうつわ、実用のうつわ、モチーフとしてのうつわなど、ガラスを素材に制作された、ジャンル横断的な「うつわ」のあり方に着目します。



6. 小西潮《やかん太陽系》2021年、作家蔵、撮影:大隅圭介



7. ボイド・スギキ《Untitled》2021年、作家蔵



8. サブロウ《あふみ文様大鉢「とりどり」》2021年、作家蔵、撮影:岡村喜知郎

展示作品
の紹介

3. 見えてくるのは何か？

ガラスの特性から生まれる視覚効果を取り入れた作品や、様々な連想を呼び起こすような作品から、作品を前に「見えてくる」ものは一体何か？という問いを投げかけます。



9. 本郷仁《融る境界》2021年、作家蔵、
撮影:柳原良平『風景装置』2021年
石川県能登島ガラス美術館



10. スコット・ダーリントン
《アメリカン・フラッグ・カウボーイ・
セット》2004年、富山市ガラス美術館
所蔵、撮影:末正真礼生



11. 廣瀬絵美《In between》
2021年、作家蔵、
撮影:岡村喜知郎

4. 自然との交流

身の回りの自然はアイディアの源泉となる存在です。ここでは作家達が、周囲の自然と深く関わる中で制作した作品を展示します。



12. ウラジミール・クライン
《海の水平》1995年、
富山市ガラス美術館所蔵、
撮影:末正真礼生



13. 塚田美登里《Natural Verse》
2019年、作家蔵



14. 小林俊和《「春の訪れ」目白と椿》
2008年、作家蔵

展示作品
の紹介

5. 未見の造形を求める

独自の制作プロセスを確立し、これまでにない表現を探究する作家たちの作品を紹介し、ガラスという素材から広がる無限の可能性を提示します。



15. 小林千紗
《しろのくろのかたち 2021-1》
2021年、作家蔵



16. 伊藤真知子
《Symbiosis 共生 共存》2021年、
作家蔵、撮影:ハプト



17. 津守秀憲《胎動'19-4》2019年、作家蔵

* 広報用画像の貸出しについて
3p-6p の画像 1-17 を広報用に貸出しいたします。
ご希望の方は、8p の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき
E メールか FAX にて富山市ガラス美術館へ申請書をお送りください。
E-mail : bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX : 076-461-3310

関連
プログラム

記念講演会

35年来にわたる市政「ガラスの街とやま」に尽力してきた3人のガラス関係者が、ガラス造形研究所のこれまでの教育活動の歩みと今後の展望を語ります。

日時：10月23日（土）11：00-12：00

登壇：渋谷良治（富山ガラス美術館館長、富山ガラス造形研究所制作アドバイザー）

本郷仁（富山ガラス造形研究所主任教授、富山ガラス工房館長）

野田雄一（富山ガラス工房シニアアドバイザー）

聞き手：畠山耕造（富山市ガラス美術館学芸専門官）

会場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

※事前申込不要、参加無料

美術館×研究所×工房 ガラス3機関連携プログラム

富山市中心部（美術館）と郊外（研究所、ガラス工房）にあるガラス関連施設が連携し、展覧会出品作家による吹きガラスの公開制作をはじめ、様々なイベントを開催します。

（1）アーティスト・トーク

日時：11月6日（土）13：15-14：15

登壇：塚田美登里（本展出品作家）

会場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

※事前申込不要、参加無料

※本プログラムは配信も予定しております。詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。

（2）吹きガラスデモンストレーション（公開制作）

日時：11月6日（土）15:00-16：30

作家：岸本耕平（本展出品作家）

会場：富山ガラス工房 第2工房（住所 富山市古沢152） ※駐車場あり（30台程度）

定員：50名（要事前申込、応募者多数の場合は抽選） 参加無料

共催：一般財団法人 富山市ガラス工芸センター

※本プログラムは配信も予定しており、当日は美術館と富山ガラス工房を往復する無料送迎バス（事前申込制）の運行を予定しております。申込方法などの詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。

関連
プログラム

LIVE in 富山ガラス工房

日 時：11月6日（土）18：30 開場、19：00 開演（終演 20：00 頃）

出 演：ヤマダベン、grava、宝栄美希

料 金：3,000 円（事前予約制、先着 50 名）

会 場：富山ガラス工房 第 2 工房（住所 富山市古沢 152） ※駐車場あり（30 台程度）

主 催：一般財団法人 富山市ガラス工芸センター

※チケットのご予約、お問合せ：富山ガラス工房（076-436-3322）

10月20日（水）9時受付開始

※関連プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。最新の情報は美術館ウェブサイトをご確認ください。

公式 SNS

本展覧会の最新情報は、美術館公式フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブでも配信しています。

フェイスブック・インスタグラム アカウント ID：@toyamaglassartmuseum

展覧会ハッシュタグ：#tiga30



Instagram



facebook

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：_____

T e l : _____ F a x : _____

E - m a i l : _____

住所：_____

団体名：_____

富山市ガラス美術館 画像貸出申請書

次のとおり、掲載用素材として画像貸出を申請します。

1. 掲載（放映）媒体名：_____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨：

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：_____

5. ご希望の入選作品：（入選作品一覧の番号、作家、作品名を記入ください）

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。キャプション等の文字が写真にかぶらないようお願いします。

また、縦横比の変更やトリミングはおやめください。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○提供する画像データは使用後速やかに消去してください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いいたします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館（広報担当）E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310